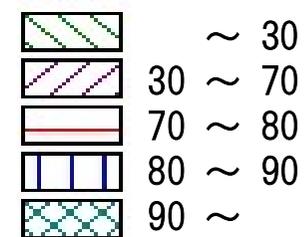
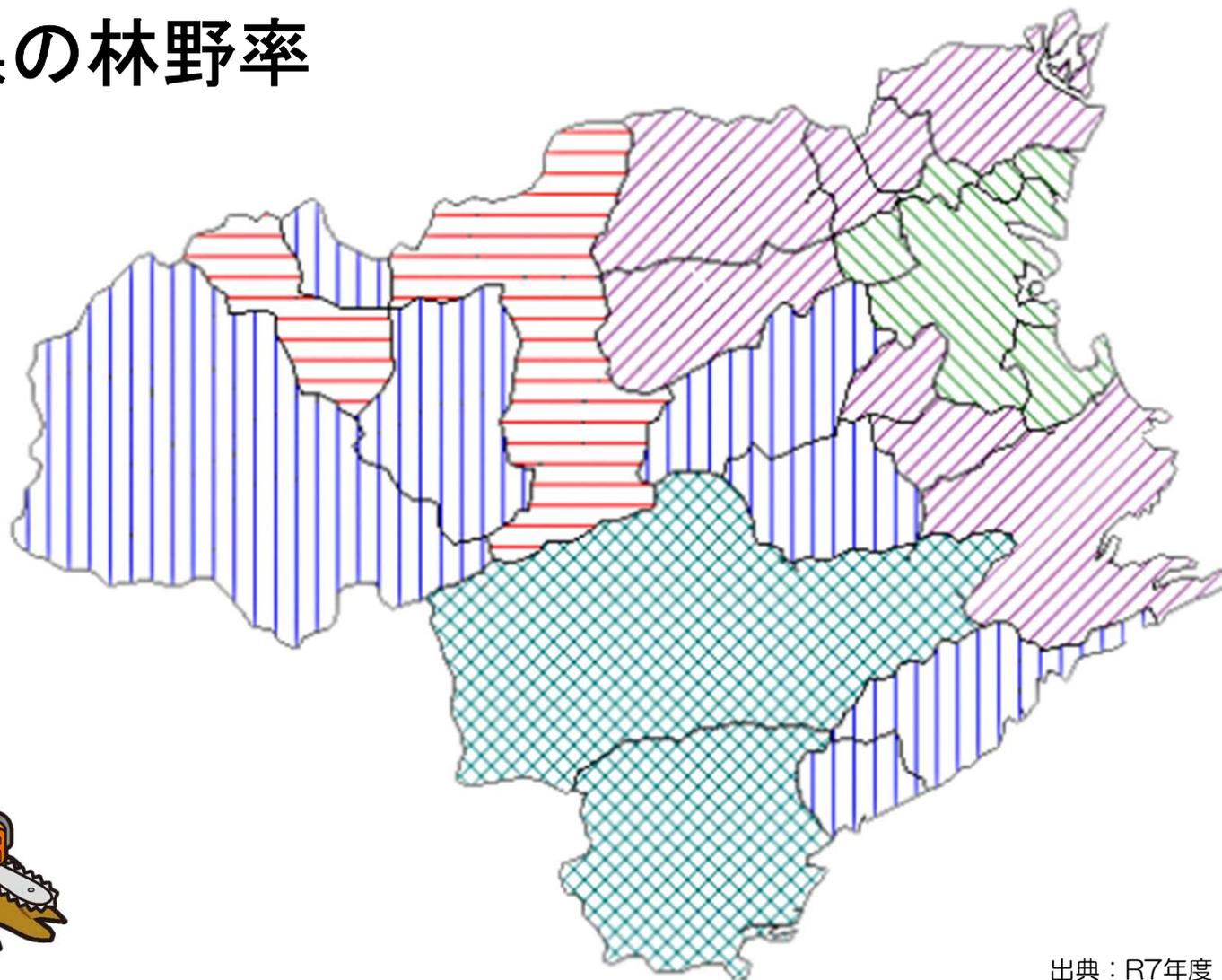




徳島県の林業 現状と課題について

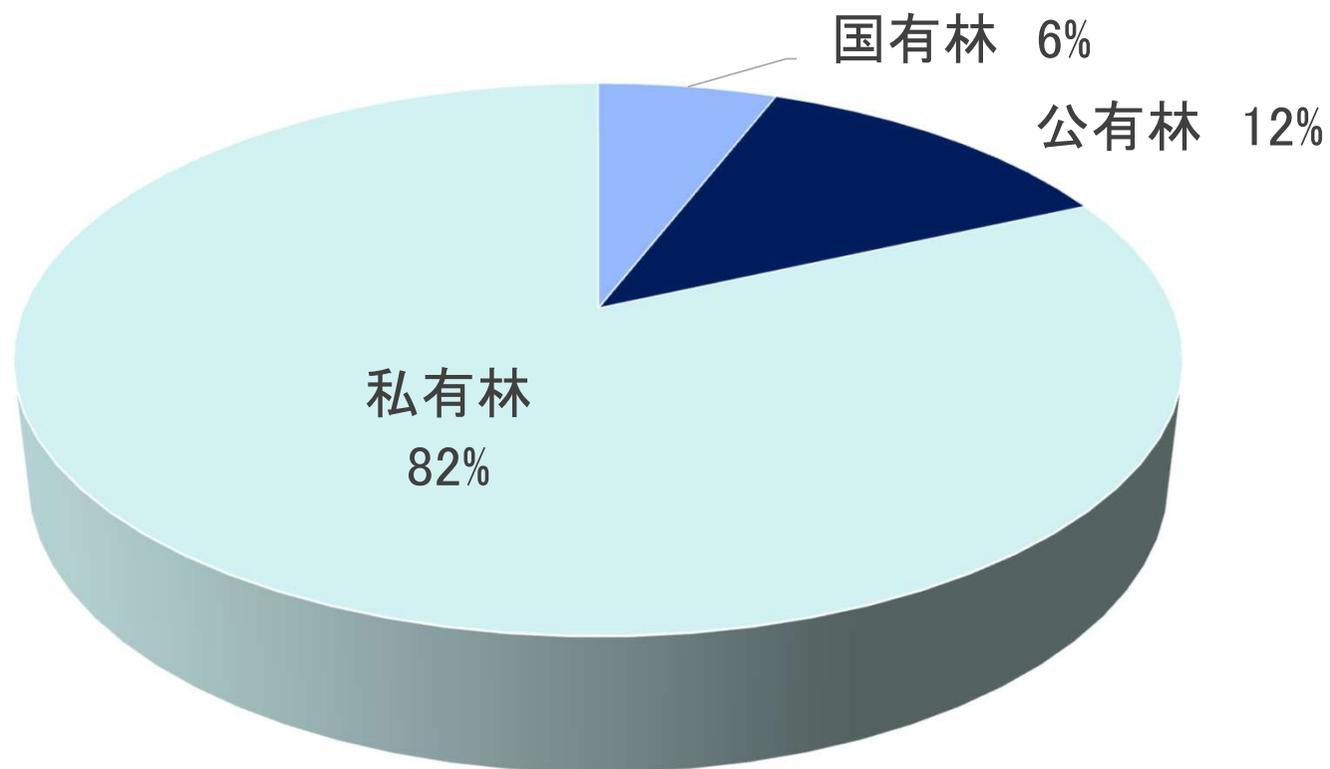
徳島県素材生産流通協同組合
担当リーダー 天田 香

1 徳島県の林野率



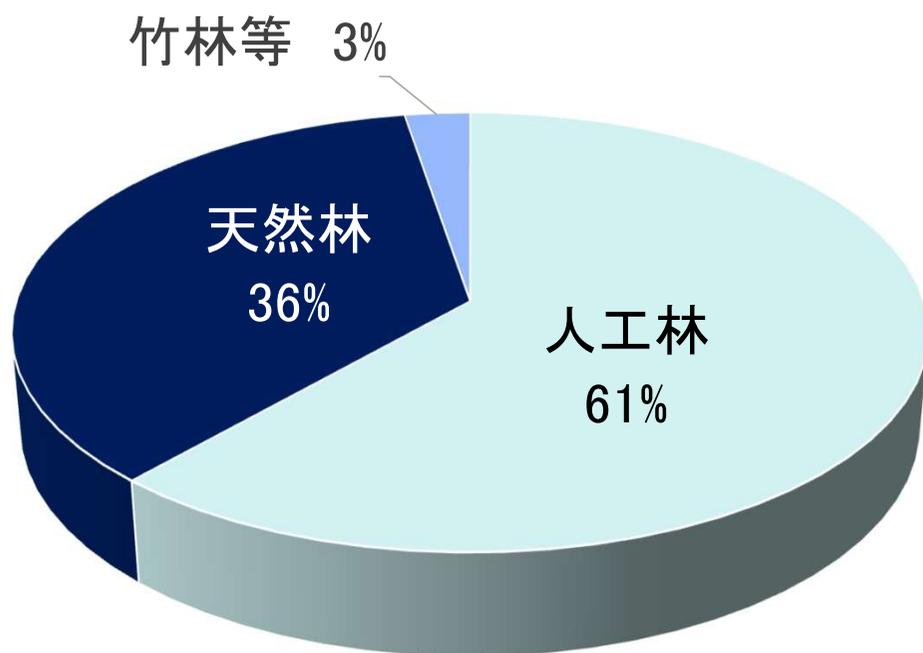
出典：R7年度 徳島県林業統計「みどりの要覧」

2 森林の所有形態別面積比率



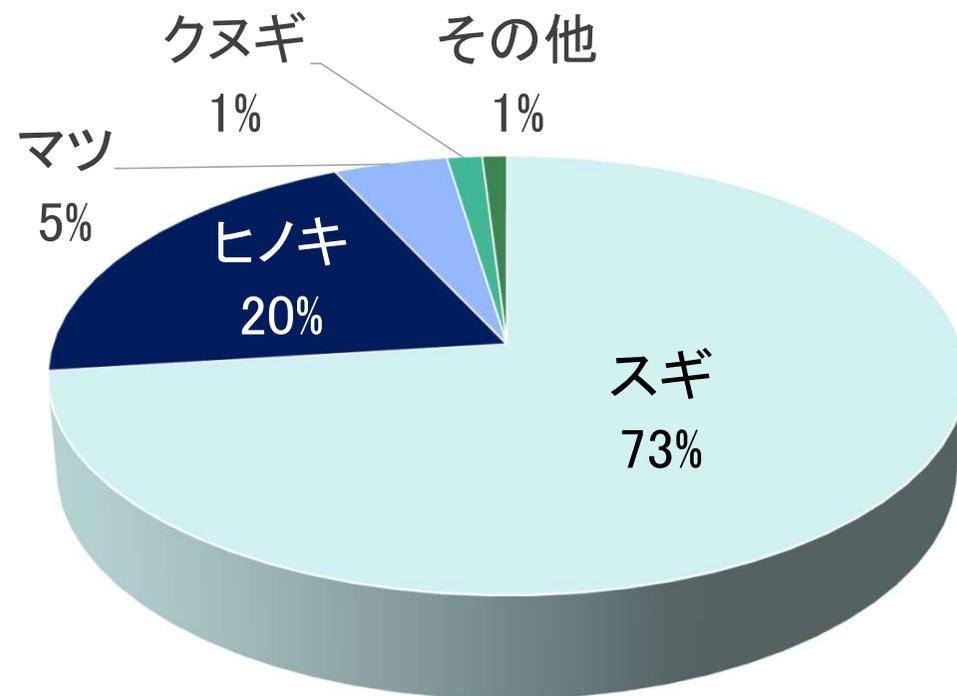
森林総数: 314, 832ha

3 人工林・天然林別面積割合



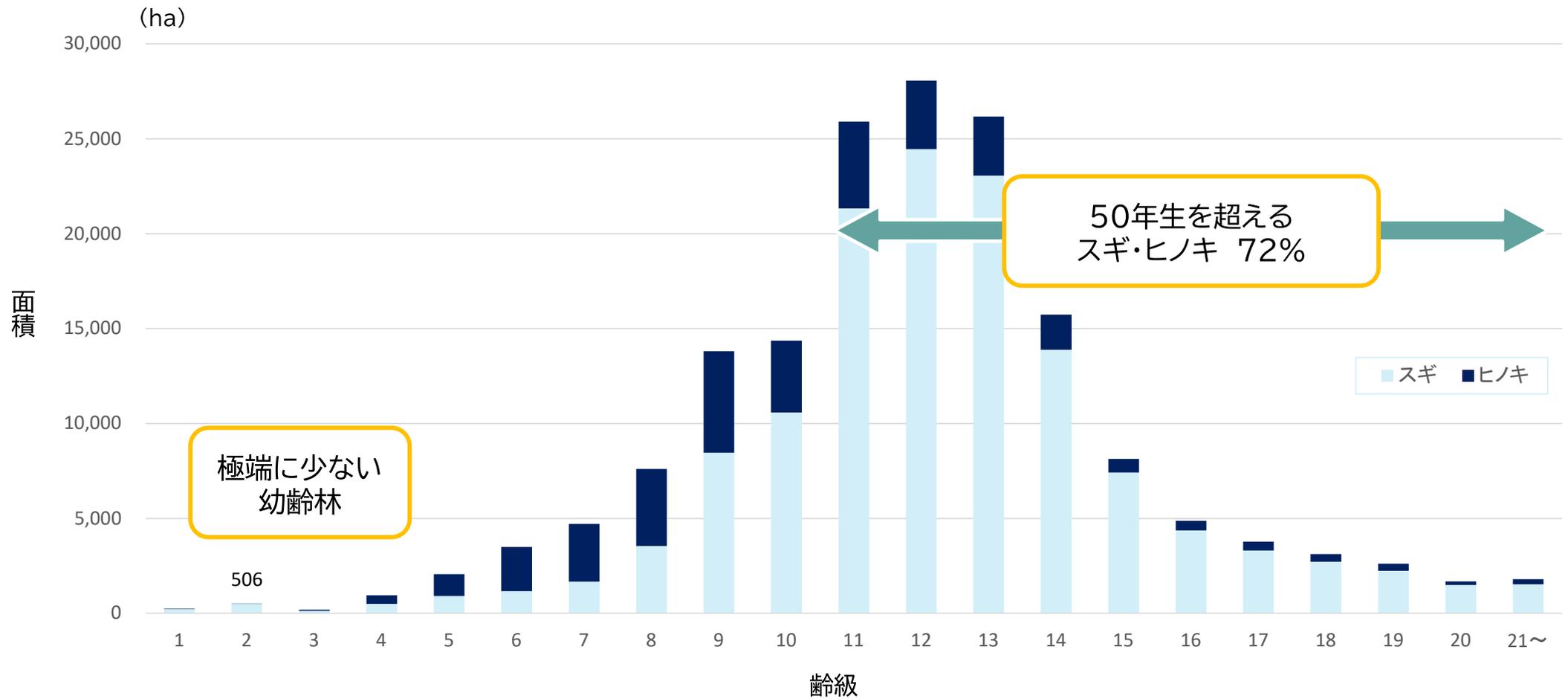
対象民有林面積：292, 884ha

4 人工林の樹種別面積割合

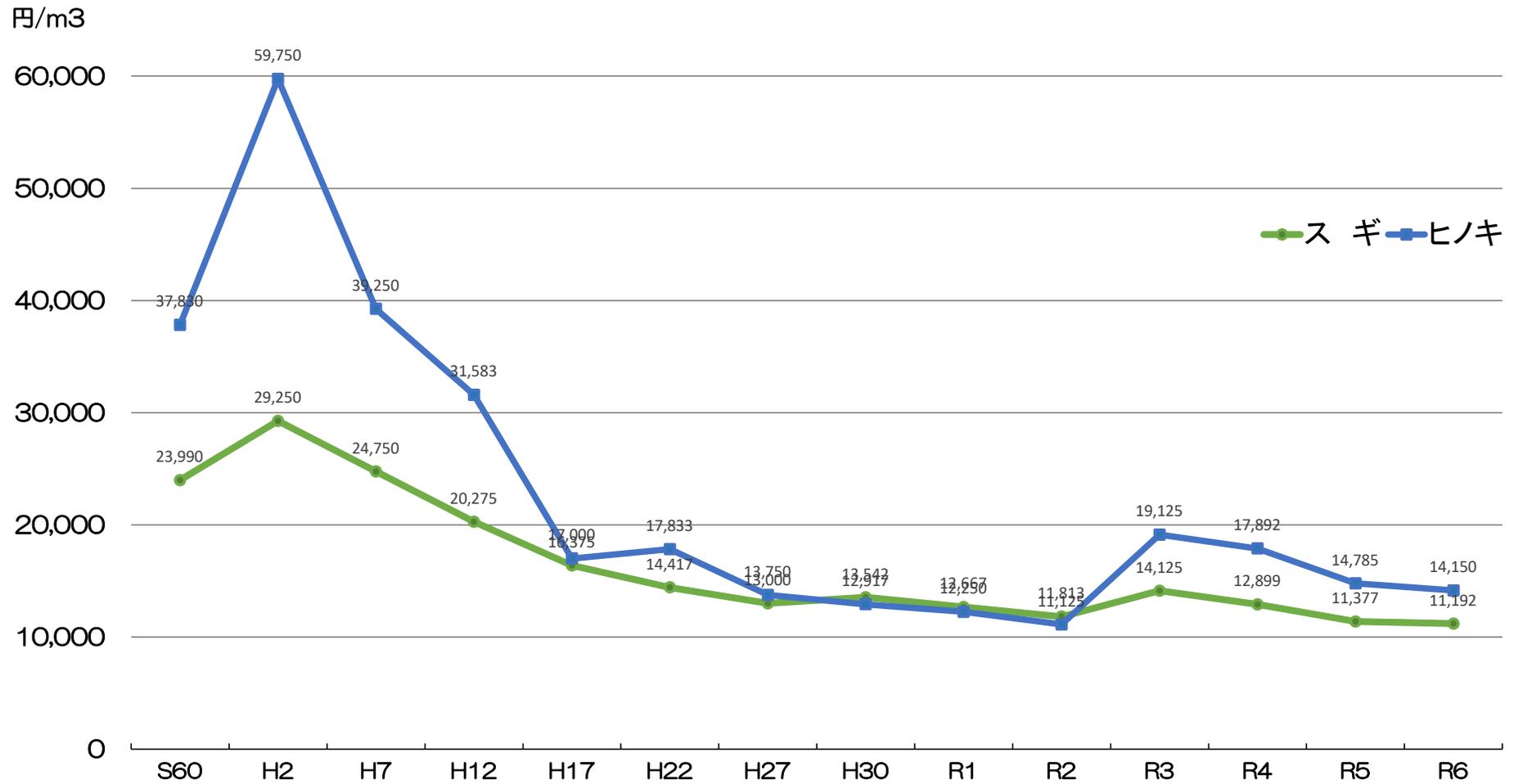


対象人工林面積：182, 460ha

5 スギ・ヒノキの人工林齢級構成

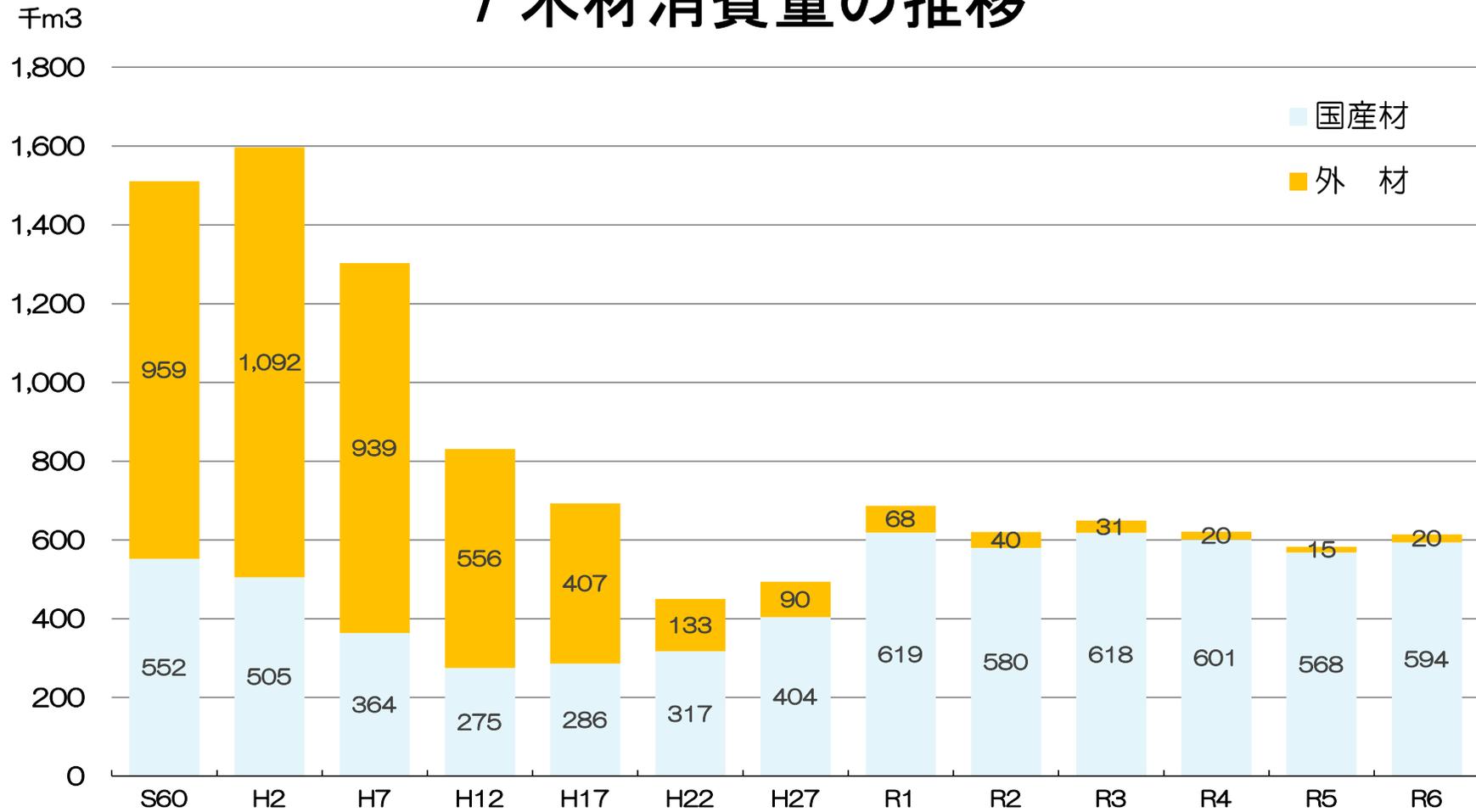


6 木材(中丸太)価格の推移



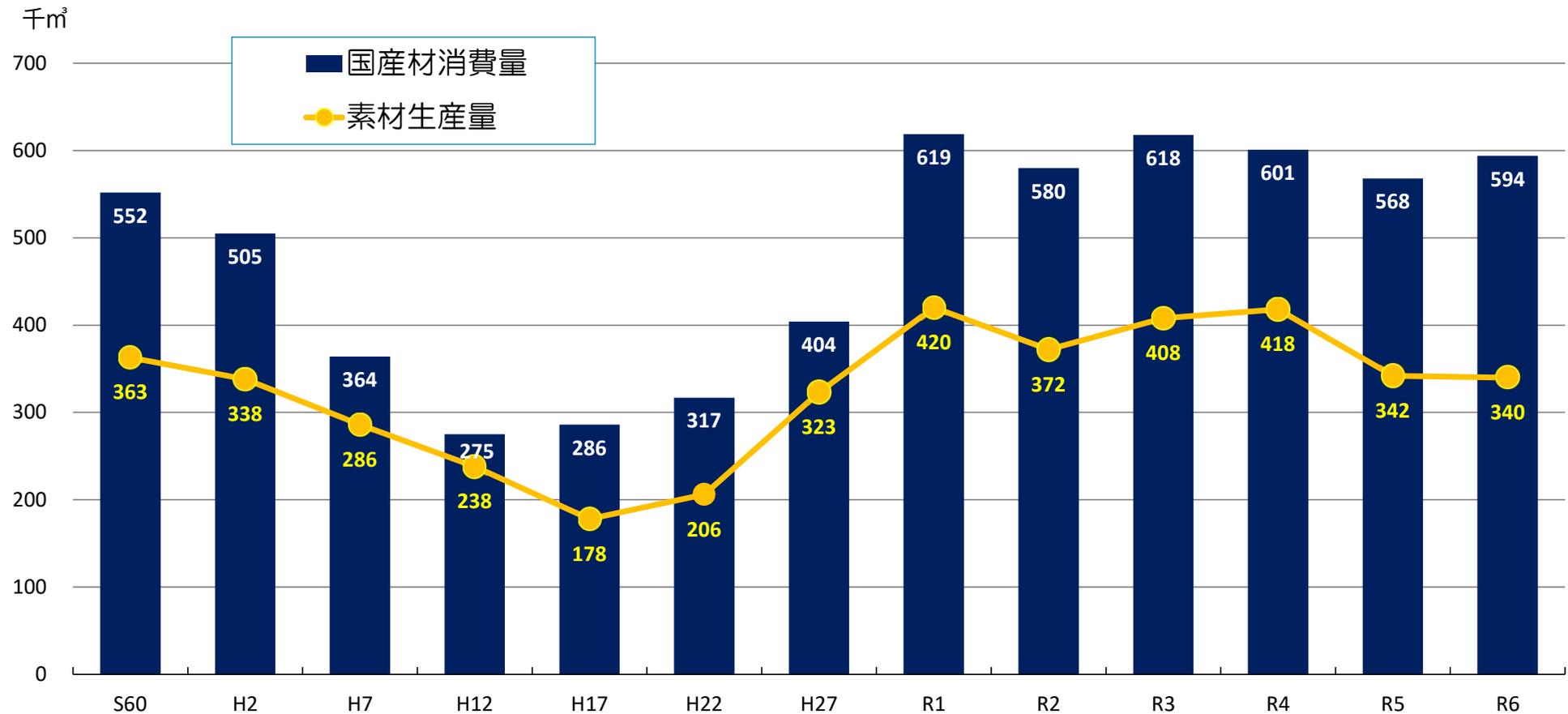
出典：R7年度 徳島県林業統計「みどりの要覧」

7 木材消費量の推移



出典：R7年度 徳島県林業統計「みどりの要覧」

8 国産材消費量と素材生産量の推移



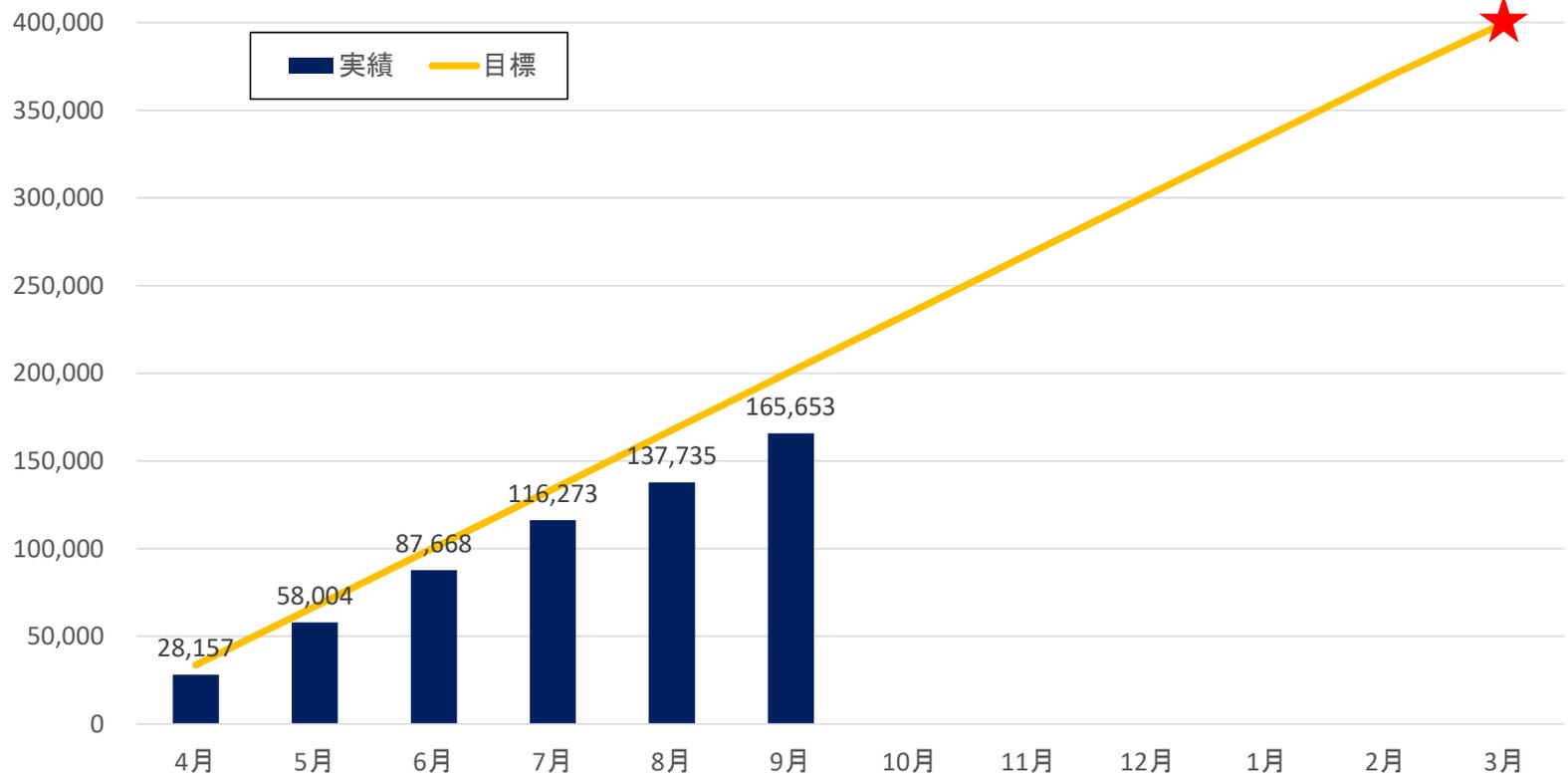
出典：R7年度 徳島県林業統計「みどりの要覧」

注：速報値、令和7年10月末時点

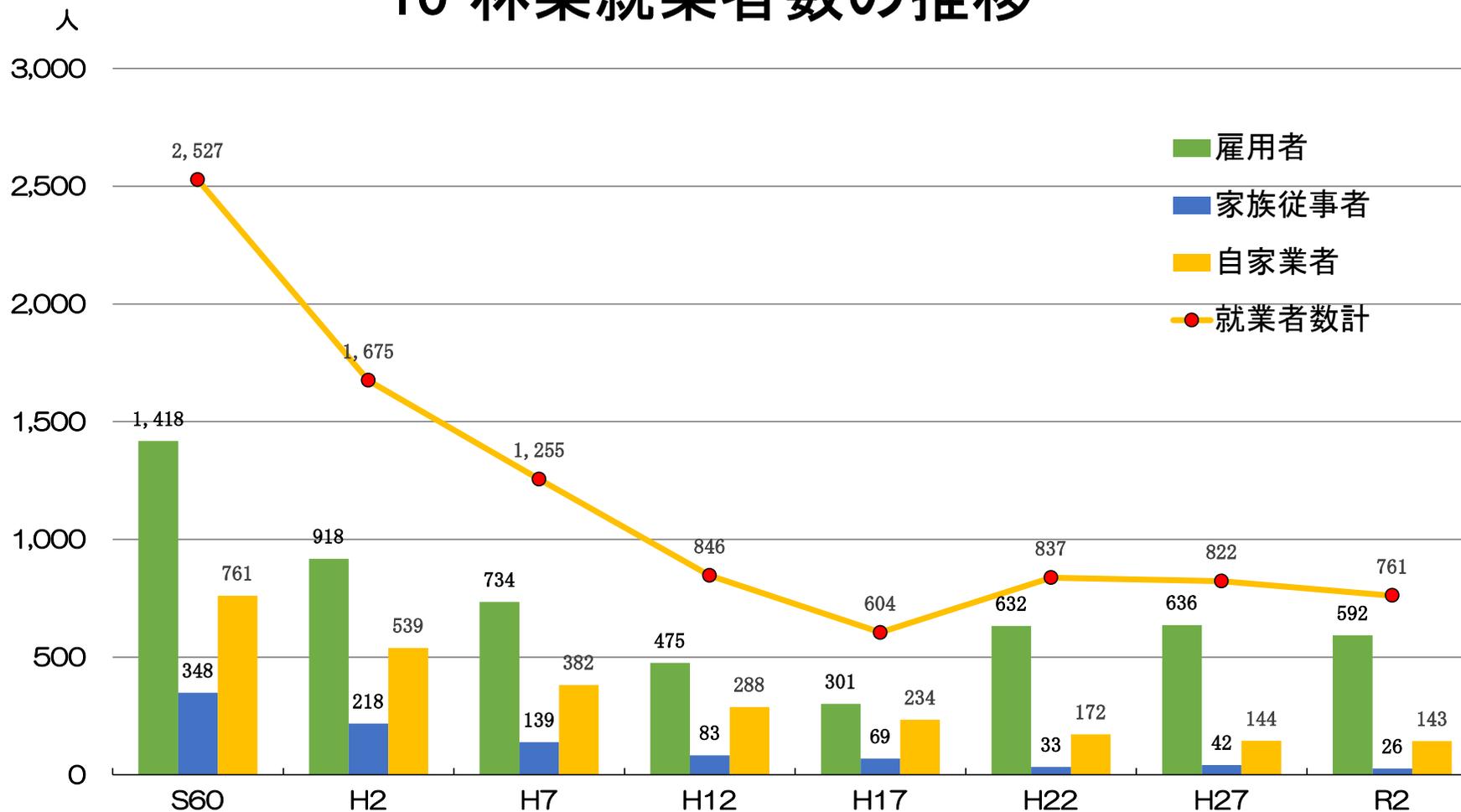
9 県産材の増産に向けた取組状況

令和7年度素材生産目標量 400千 m^3

千 m^3

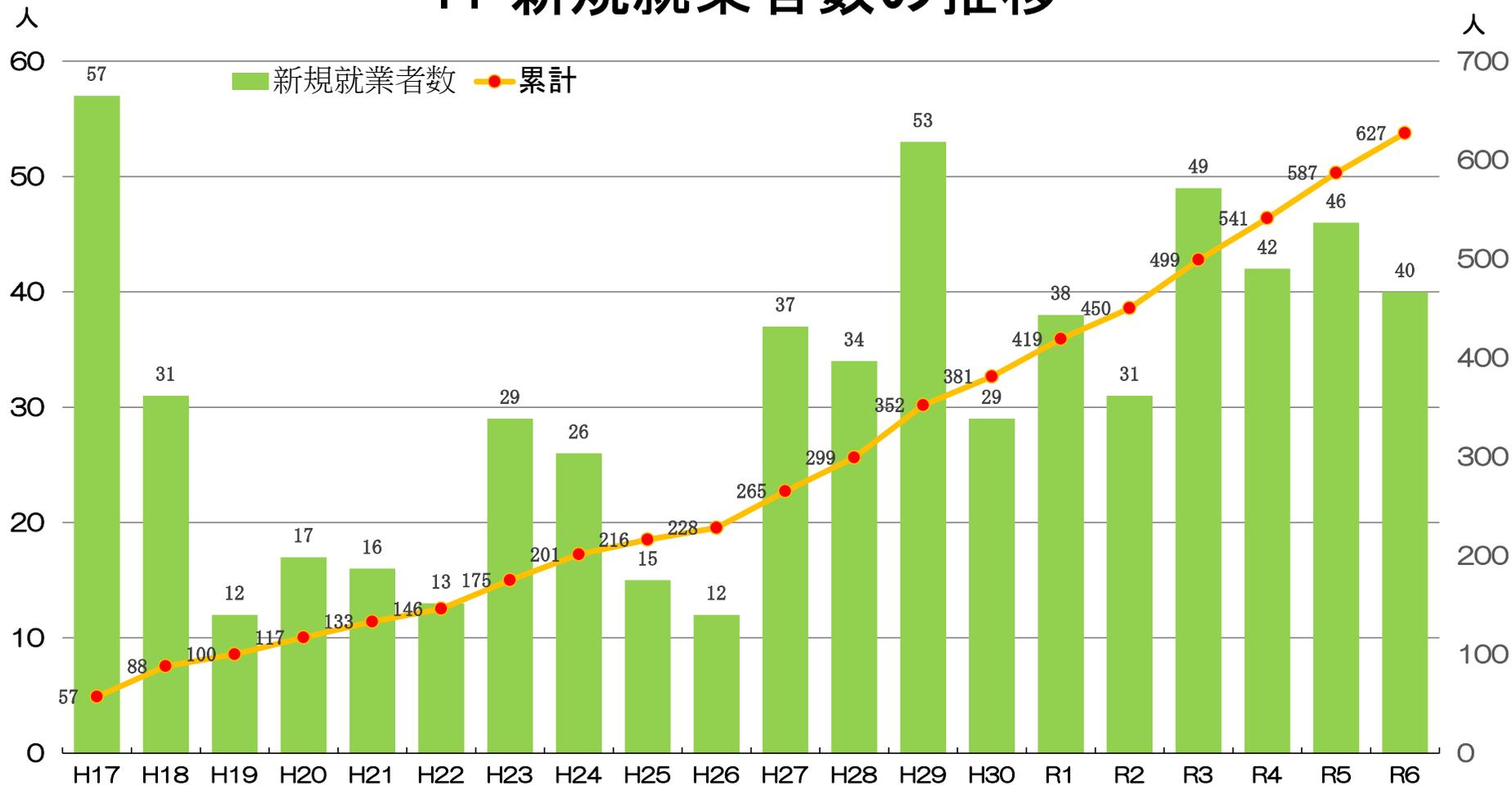


10 林業就業者数の推移



出典：R6年度 徳島県林業統計「みどりの要覧」

11 新規就業者数の推移



出典：R7年度 徳島県林業統計「みどりの要覧」

▶ 充実した森林資源

→主伐可能林分が大半

▶ 国産材回帰の流れ

→ウッドショックを契機

▶ 環境意識の高まり

→SDGs、森林吸収源

※ 「資源の有効活用」と「人工林の若返り」が
求められている。



▶ 地域経済の好循環の創出

→ 「伐って、使って、植えて、育てる」

▶ 適正な森林の管理

→ 多発する「山地災害の防止」

▶ CO2吸収量の増大と森林資源の循環利用

→ 「伐採後の確実な再造林」

※ 「森林資源の循環利用」の確立が急務。

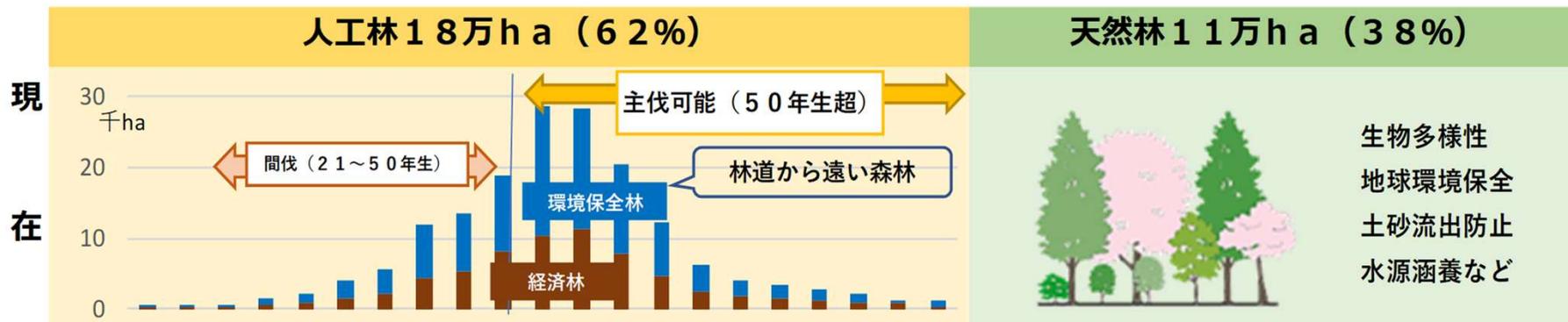




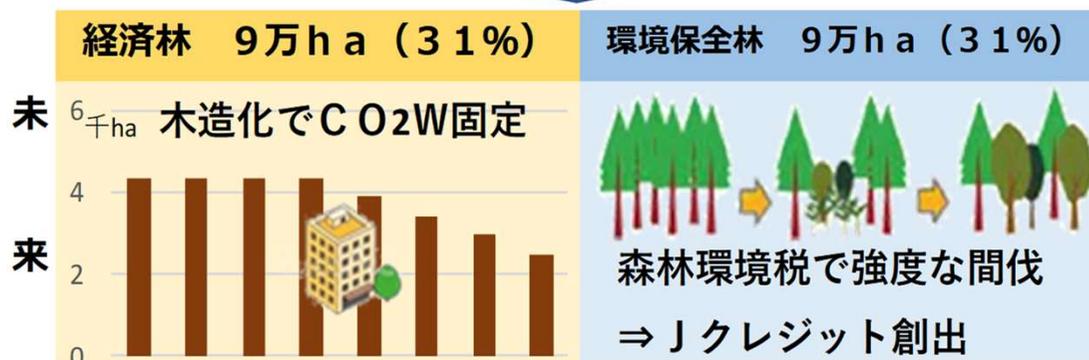
【森林サイクル】

- 伐って** 主伐(収穫)
- ↓
- 使って** 需要拡大
- ↓
- 植えて** 確実な再造林
- ↓
- 育てる** 下刈・間伐

目指すべき姿



人工林を分割して管理



環境保全林・天然林は、**多様な姿**で「生活を守る役割」を果たしていく

経済林は、**林齢が平準化**され、
「木材生産」で、**森林循環**を図っていく

1 多様な人材の育成・確保

- ① 事業体の育成・強化
- ② 林業従事者の育成・確保
- ③ 新規就業者の定着率向上
- ④ 技術力の向上

【成果指標 2028年度】

○新規就業者数（累計）

200人

○林業プロフェッショナル数（累計）

200人

2 森林の価値を高めるDX・GXの推進

- ① 航空レーザ測量の活用
- ② 基盤整備による増産体制の強化
- ③ 新たな作業システムの研究・構築
- ④ 低コスト再造林の推進とエリートツリーの増産

【成果指標 2028年度】

○県産材の生産量

60.0万³m

○エリートツリーの植栽割合

65.0%

3 成熟した資源の利用

- ① 加工流通体制の整備
- ② 川中・川下人材の育成
- ③ 製材所の連携強化と需要拡大
- ④ 非住宅や公共建築物の木造・木質化
- ⑤ 木育の展開

【成果指標 2028年度】

○県内における原木消費量

718千³m

○県産材の海外輸出額

400百万円

4 多様な主体による森林の保全・管理

- ① Jクレジットによる脱炭素社会の実現
- ② 奥地森林の保全・整備
- ③ 治山施設の整備推進
- ④ 企業との協働による森づくり
- ⑤ 保安林等の指定

【成果指標 2028年度】

○Jクレジットの販売量

2,000t

○保安林指定面積（累計）

100,100ha

花粉発生源対策事業について

①林相転換特別対策(森林環境保全整備事業)

スギの人工林であって、森林所有者等との協定に基づいて実施する**一貫作業等**を支援。

②花粉の少ない森林への転換促進支援

花粉発生源の立木の伐倒・除去及び花粉症対策苗木等の植栽に必要な経費の一部を支援。

条件

- ・**スギ人工林伐採重点区域**であること
- ・植栽は**花粉の少ない品種**であること など

参考

◎森林整備事業のあらまし

https://www.rinya.maff.go.jp/j/seibi/zourinkikaku/shinrinseibi_aramashi.html

◎花粉の少ない森林への転換促進支援

<https://jafta-kafunsakugen.com/>





木屋平地区の森林状況

地区の約95%(9500ha)が森林

うち 民有林 8600ha

国有林 650ha

市有林 250ha

人工林率 70%





植林



下刈



作業道開設



木製品販売

ご清聴ありがとうございました

森林循環で持続可能な社会の実現

